



# 公正な研究活動の推進に向けて ～研究倫理教育・研究不正の状況～

2023年11月17日

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

研究公正推進室長 岡村勝文

2006年8月

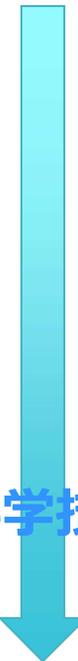
**研究活動の不正行為への対応のガイドラインについて  
(科学技術・学術審議会研究活動の不正行為に関する特別委員会)**



その後も不正行為が後を絶たない

2014年8月

**研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン  
(文部科学大臣決定)**



- 不正行為の事前防止のための取組
  - 定期的な研究倫理教育の実施
  - 研究データ等の保存・開示の義務付け
- 組織の管理責任の明確化
  - 研究機関における規程・体制の整備・公表等
- 特定不正行為及び管理責任に対する措置
  - 研究機関の体制整備等の不備が改善されない場合は、間接経費の削減等の措置

2018年12月

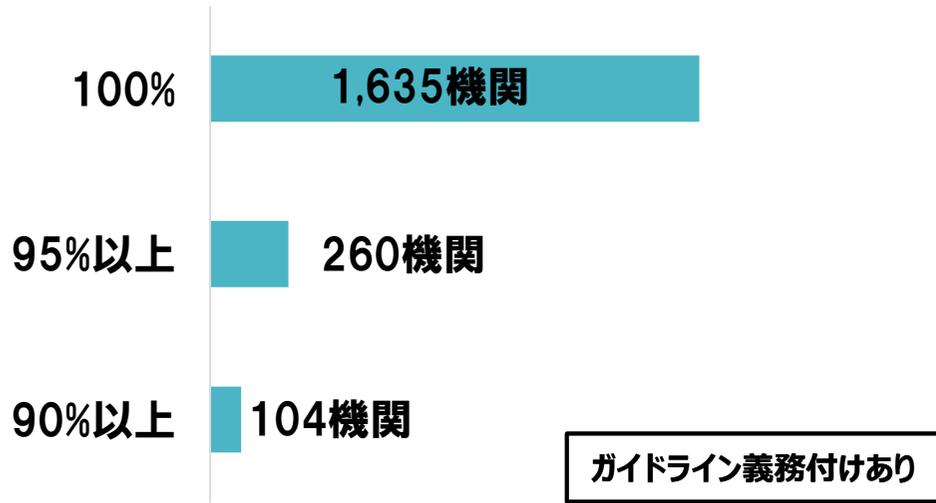
**科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律**

- 我が国の法律に初めて研究公正を規定。研究者、研究機関、国の責務を規定

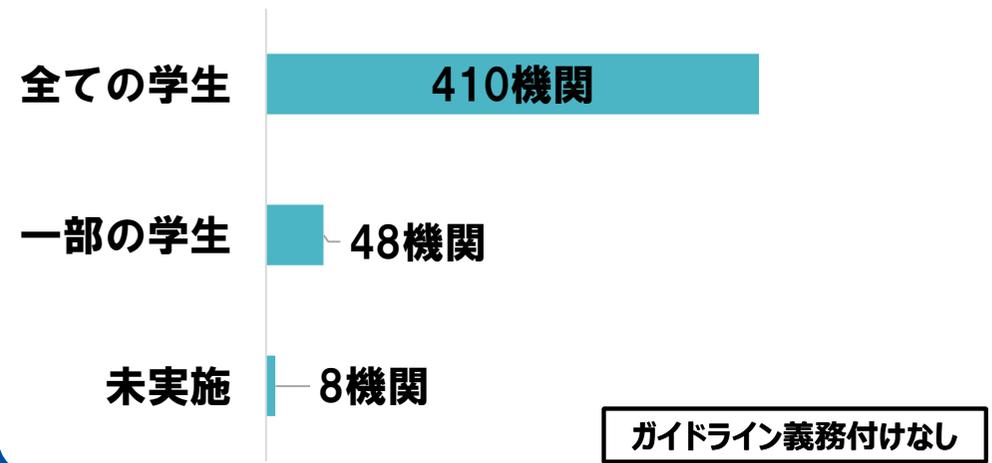
# 研究倫理教育の状況

『研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインに基づく取組状況に係るチェックリスト（令和3年度版）』に基づく結果

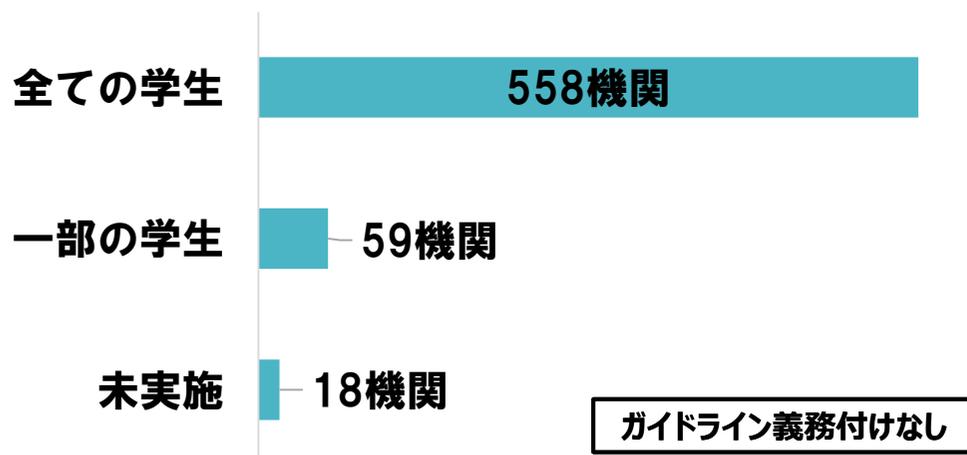
## 研究者の受講率



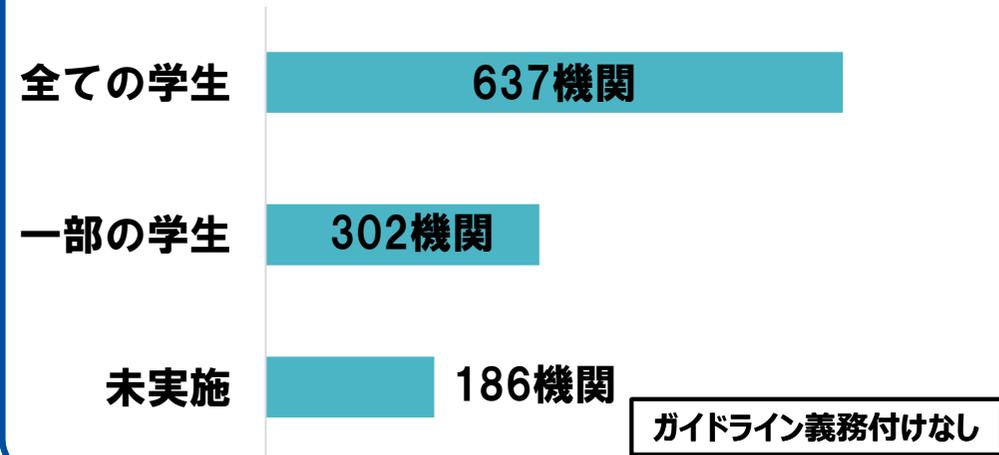
## 博士課程学生に対する研究倫理教育の実施状況（大学）



## 修士課程学生に対する研究倫理教育の実施状況（大学）



## 学部学生に対する研究倫理教育の実施状況（大学・短期大学・高専）



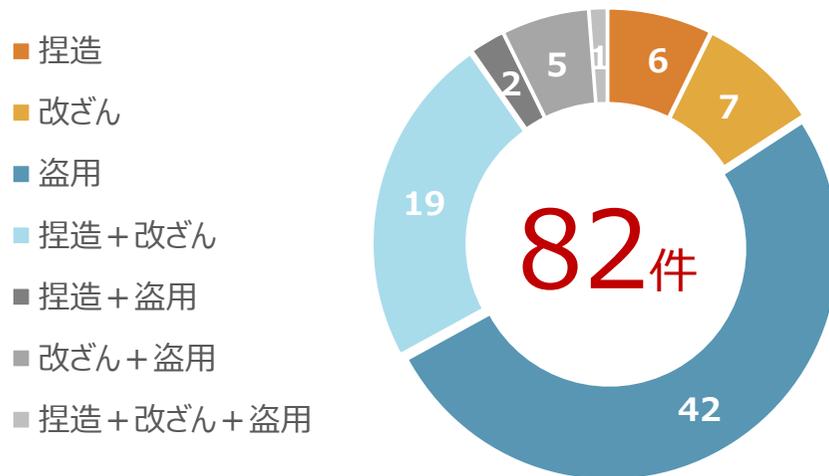
# 特定不正行為の認定・公表の状況（2015年度～2022年度）

- 現行ガイドライン適用後（2015年度～2022年度）の文部科学省の予算の配分又は措置に関する研究不正について、
  - ① 特定不正行為（捏造、改ざん、盗用）の件数は、**82件**（自然科学系44件、人文社会系38件）。
  - ② 特定不正行為（捏造、改ざん、盗用）に関与した者等の数は、**106人**（自然科学系67人、人文社会系39人）。
- その他、二重投稿、自己盗用、不適切なオーサーシップが認定される事案もある。

## 特定不正行為の認定件数（年度別）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
自然科学系	3件	5件	8件	3件	3件	6件	7件	9件	<b>44件</b>
人文社会系	6件	4件	7件	4件	6件	4件	4件	3件	<b>38件</b>
合計	<b>9件</b>	<b>9件</b>	<b>15件</b>	<b>7件</b>	<b>9件</b>	<b>10件</b>	<b>11件</b>	<b>12件</b>	<b>82件</b>

## 特定不正行為の認定件数（不正種別）



(※) 1事案に含まれる不正の種別毎の分類

## 特定不正行為の認定者数（職位別）

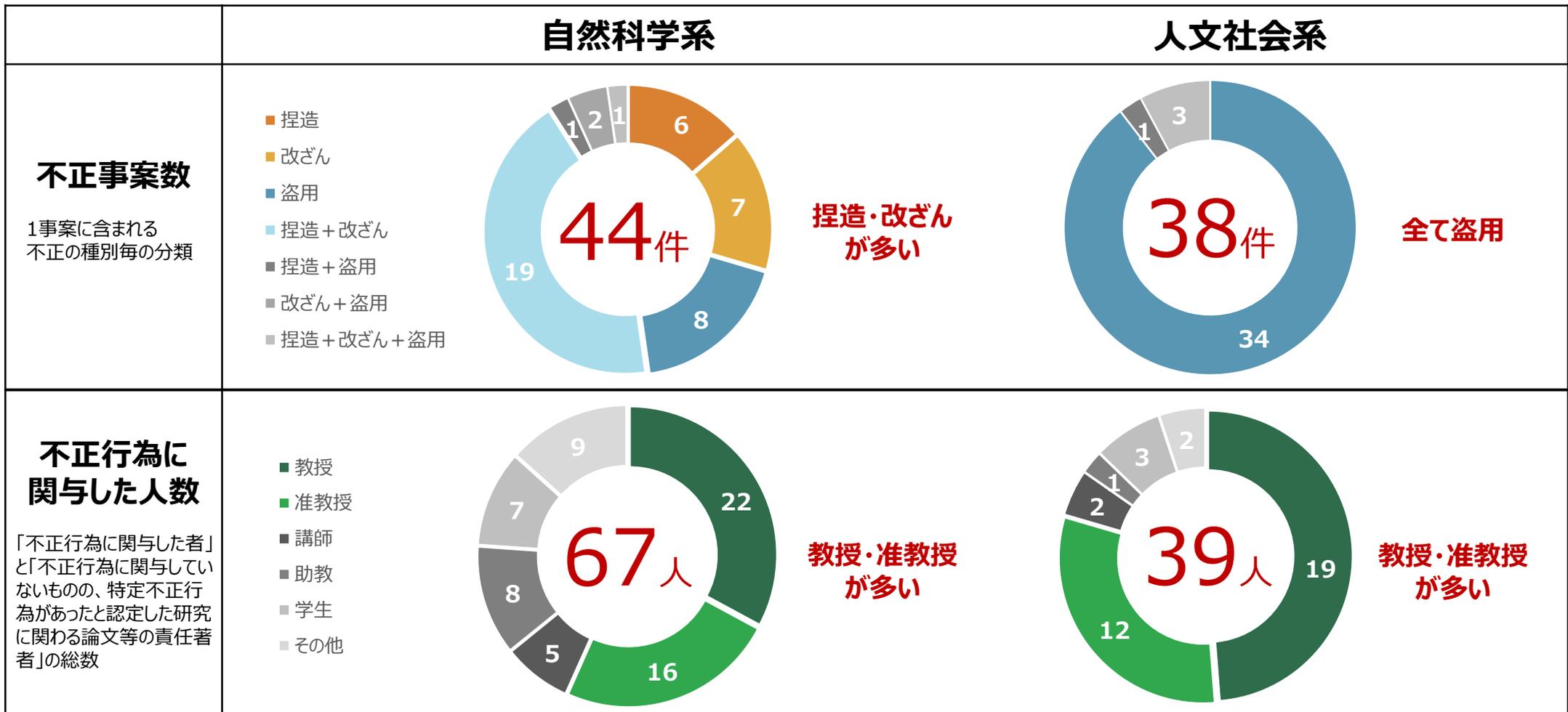


(※) 「不正行為に関与した者」と「不正行為に関与していないものの、特定不正行為があったと認定した研究に関わる論文等の責任著者」の総数

# 特定不正行為の認定・公表の状況（自然科学系・人文社会系）

## 特定不正行為の認定件数（年度別）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
自然科学系	3件	5件	8件	3件	3件	6件	7件	9件	<b>44件</b>
人文社会系	6件	4件	7件	4件	6件	4件	4件	3件	<b>38件</b>
合計	<b>9件</b>	<b>9件</b>	<b>15件</b>	<b>7件</b>	<b>9件</b>	<b>10件</b>	<b>11件</b>	<b>12件</b>	<b>82件</b>



# 不正行為の認定・公表状況（全体）

## ◆ 不正事案数

	特定不正行為			事案数小計 (重複除く)	二重投稿 自己盗用	不適切な オーサーシップ	その他	事案数合計 (重複除く)
	捏造	改ざん	盗用					
2015年度	1件	1件	8件	9事案	1件	1件	－	9事案
2016年度	1件	3件	6件	9事案	2件	1件	－	9事案
2017年度	6件	8件	9件	15事案	3件	4件	－	16事案
2018年度	1件	2件	6件	7事案	2件	1件	－	8事案
2019年度	3件	3件	6件	9事案	4件	－	－	10事案
2020年度	2件	3件	6件	10事案	－	2件	1件	11事案
2021年度	5件	5件	6件	11事案	1件	3件	－	13事案
2022年度	9件	7件	3件	12事案	3件	4件	1件	15事案
合計	28件	32件	50件	82事案	16件	16件	2件	91事案

## ◆ 特定不正行為に関与した者等の数

	教授	准教授	講師	助教	院生	その他	合計
2015年度	4人	3人	－	2人	－	－	9人
2016年度	5人	3人	－	1人	－	2人	11人
2017年度	8人	4人	3人	2人	－	1人	18人
2018年度	4人	2人	1人	－	－	1人	8人
2019年度	6人	5人	－	1人	2人	－	14人
2020年度	4人(5人)	2人(3人)	－(1人)	－	5人	5人	16人(19人)
2021年度	5人(6人)	6人	1人	－	2人	－	14人(15人)
2022年度	5人(7人)	3人	2人(4人)	3人	1人(2人)	2人	16人(21人)
合計	41人(45人)	28人(29人)	7人(10人)	9人	10人(11人)	11人	106人(115人)

※同一の者が複数の職位で特定不正行為を行った場合は、高い職位でカウント

※（ ）内の人数は延べ人数（同一研究者に対する不正認定が複数回に分けて報告され、個々に計上した場合）